

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL http://www.nicca.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	23,273	11.0	1,082	22.6	1,099	32.3	571	42.2
28年12月期第2四半期	20,966	△4.7	882	△40.7	831	△49.1	402	△59.5

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 650百万円 (-%) 28年12月期第2四半期 △1,879百万円 (△227.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	36.45	—
28年12月期第2四半期	25.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	49,984	19,747	34.6
28年12月期	50,580	19,417	33.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 17,289百万円 28年12月期 16,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年12月期	—	8.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	6.3	1,700	16.6	1,700	7.0	2,300	563.4	146.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期 2 Q	17,710,000株	28年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	29年12月期 2 Q	2,019,052株	28年12月期	2,019,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期 2 Q	15,690,953株	28年12月期 2 Q	15,690,984株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

これにより、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても比較を容易とするため、百万円単位の記載に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年6月30日）におけるわが国経済は、企業業績が内外需用の持ち直しを受けて好調に推移していることに加え、個人消費にも雇用者数の増加、物価上昇率の低下などを背景とした持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しております。海外においては、欧州市場が景気回復基調にある一方で、中国の景気減速や米国の政権運営の停滞感などによる世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は232億7千3百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は10億8千2百万円（同22.6%増）、経常利益は10億9千9百万円（同32.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億7千1百万円（同42.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

① 化学品事業

売上高は171億6千7百万円（同12.7%増）、セグメント利益は8億6千4百万円（同14.1%増）となりました。

主力である繊維加工用薬剤の新規案件獲得に加え、製紙用薬剤、非イオン活性剤、機能性樹脂製品の販売が堅調に推移したほか、大智化学産業株式会社における半導体市場向け製品の販売やニッカKOREA CO., LTD.における撥水剤事業が好調であったことにより、売上高は増加しました。

② 化粧品事業

売上高は59億3千8百万円（同5.7%増）、セグメント利益は10億5千1百万円（同1.9%減）となりました。

国内美容サロン業界全体の伸び悩みに伴い、当社デミコスメティクスやイーラル株式会社の販売が苦戦を強いられている一方、山田製薬株式会社における化粧品製造受託事業や、DEMI KOREA CO., LTD.における販売も引き続き好調であることから、売上高は増加しました。

③ その他

売上高は1億6千6百万円、セグメント損失は1千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、5億9千5百万円減少し、499億8千4百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が増加する一方で、受取手形及び売掛金、製品及び商品の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、9億2千6百万円減少し、302億3千6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、賞与引当金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、3億3千万円増加し、197億4千7百万円となりました。非支配株主持分が減少したものの、利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の33.3%から34.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期連結業績予想につきましては、本決算短信に記載の通りであります。

なお、平成29年12月期通期個別業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表いたしました個別業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,882	6,219
受取手形及び売掛金	11,029	9,894
商品及び製品	3,977	3,586
仕掛品	717	616
原材料及び貯蔵品	3,089	3,027
その他	1,794	1,784
貸倒引当金	△42	△26
流動資産合計	26,448	25,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,518	9,249
機械装置及び運搬具（純額）	2,214	2,463
土地	6,231	6,365
その他（純額）	1,932	2,735
有形固定資産合計	19,897	20,814
無形固定資産		
のれん	100	59
その他	633	581
無形固定資産合計	733	641
投資その他の資産	3,500	3,425
固定資産合計	24,131	24,881
資産合計	50,580	49,984

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,310	4,477
短期借入金	15,264	15,925
未払法人税等	279	309
賞与引当金	631	528
その他	3,128	2,617
流動負債合計	24,614	23,857
固定負債		
長期借入金	2,135	1,940
退職給付に係る負債	3,086	3,103
厚生年金基金解散損失引当金	494	494
その他	832	840
固定負債合計	6,549	6,379
負債合計	31,163	30,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	12,131	12,586
自己株式	△1,478	△1,478
株主資本合計	16,606	17,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	440
為替換算調整勘定	214	135
退職給付に係る調整累計額	△384	△347
その他の包括利益累計額合計	251	228
非支配株主持分	2,558	2,458
純資産合計	19,417	19,747
負債純資産合計	50,580	49,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	20,966	23,273
売上原価	13,538	15,656
売上総利益	7,428	7,616
販売費及び一般管理費	6,545	6,534
営業利益	882	1,082
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	25	34
持分法による投資利益	40	25
助成金収入	49	49
その他	85	82
営業外収益合計	215	206
営業外費用		
支払利息	43	41
為替差損	97	65
売上割引	48	46
その他	78	36
営業外費用合計	267	189
経常利益	831	1,099
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	0	108
特別利益合計	1	108
特別損失		
固定資産除却損	3	11
固定資産売却損	1	0
特別功労金	25	2
減損損失	—	22
特別損失合計	31	37
税金等調整前四半期純利益	801	1,170
法人税等	291	506
四半期純利益	510	664
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	92
親会社株主に帰属する四半期純利益	402	571

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）
四半期純利益	510	664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135	18
為替換算調整勘定	△2,255	△68
退職給付に係る調整額	1	36
その他の包括利益合計	△2,389	△13
四半期包括利益	△1,879	650
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,621	548
非支配株主に係る四半期包括利益	△258	101

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	801	1,170
減価償却費	799	882
減損損失	—	22
特別功労金	25	2
のれん償却額	41	41
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	48	53
賞与引当金の増減額（△は減少）	△30	△103
貸倒引当金の増減額（△は減少）	19	△12
受取利息及び受取配当金	△40	△48
支払利息	43	41
為替差損益（△は益）	△118	△18
持分法による投資損益（△は益）	△40	△25
固定資産処分損益（△は益）	3	12
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	△108
売上債権の増減額（△は増加）	919	1,105
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,577	543
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,420	△805
未払消費税等の増減額（△は減少）	16	11
その他	△329	△376
小計	△837	2,388
利息及び配当金の受取額	75	58
利息の支払額	△41	△43
法人税等の支払額	△518	△412
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,322	1,991
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43	—
定期預金の払戻による収入	71	48
有形固定資産の取得による支出	△1,654	△1,735
有形固定資産の売却による収入	26	△2
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	0	137
その他	109	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,496	△1,661

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	58,437	60,886
短期借入金の返済による支出	△56,813	△60,079
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△780	△345
配当金の支払額	△187	△157
非支配株主への配当金の支払額	△200	△175
自己株式の取得による支出	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	657	130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△649	△74
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,810	384
現金及び現金同等物の期首残高	7,539	5,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,729	6,219

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,228	5,620	20,849	117	20,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	13	13	121	135
計	15,229	5,633	20,862	239	21,102
セグメント利益	757	1,071	1,828	11	1,840

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,828
「その他」の区分の利益	11
セグメント間取引消去	△63
全社費用(注)	△894
四半期連結損益計算書の営業利益	882

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,167	5,938	23,106	166	23,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	17	17	69	86
計	17,167	5,956	23,124	236	23,360
セグメント利益	864	1,051	1,916	△14	1,902

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,916
「その他」の区分の利益	△14
セグメント間取引消去	7
全社費用（注）	△827
四半期連結損益計算書の営業利益	1,082

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

報告セグメントに含まれない全社資産において、22百万円の減損損失を計上しております。これは、共用資産である倉庫等の取壊しの決定に伴う減損によるものです。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。